

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

L 金融経済教育を通じ 社会の利益増進を

【率いる】 Leading

日本FP協会は、ファイナンシャル・プランニングの普及啓発と、FP(ファイナンシャル・プランナー)の上級資格「CFP®」や、それに次ぐ資格「AFP」の養成・認定などを行う。個人会員数は約19万4000人(2015年6月1日現在)、CFP®認定者は約2万人、AFP認定者は約15万5000人。独立開業しているFPの他、官公庁や企業内FPも多く、証券、銀行、生保・損保、不動産、住宅、流通など、活躍の場は多業種に及ぶ。

「私たちの使命は、国民の金融リテラシーの向上に貢献し、社会全体の利益増進に寄与すること。そのためには、日本経済の現状を国民一人ひとりに自覚してもらう必要があります。輸入に頼る我が国の貿易赤字は常態化しており、原油安の影響でやや持ち直しているものの、円安の中で原油価格が上がり大ダメージです。財政再建や社会保障制度の再構築にあたっては、さらなる消費税増税が考えられます。日本のGDPの約60%は個人消費で、人口減少が個人消費の減少、ひいては日本全体の経済力低下に直結することは明らかです。こうした待たない現状を訴えることで、ライフプランやマネープランに真剣に取り組む機運を高め、個々のプランニングを応援していきたいと考えています」

行政もFPの活動に期待

白根さんは、同協会初の実務家出身理事長で、FPのスキルや能力の指針を示す「コンピテンシーマップ」の作成など、実務支援の実績を重ねている。

「会員の多様なニーズがある中で最大の公約数は、FPが社会に認められる存在になること。NPO法人なので、上意下達で物事が進む組織ではありません。「この人について行けば、自分たちの夢や希望がかなう」と思われるようなリーダーであってほしいと思います」

一昨年には中長期事業戦略を策定。「CFP®・AFPブランドの向上」「地域独自のFP普及促進」「行政機関との連携強化」などを方針として打ち出した。例えば、「CFP®・AFPブランドの向上」が意味するところは、他のFP資格との差別化だ。CFP®・AFPの資格は2年ごとの更新制で、高い倫理観と実務能力の向上が求められる。これがCFP®・AFPブランドの強みだ。「行政機関との連携強化」においては、病院の入通院者や有料老人ホームの入居者のお金に関する相談体制を金融庁と、専門学校生の就学支援に関する相談体制を文部科学省と連携して整えている。また、厚生労働省の生活困窮者自立支援に関する相談体制にも協力している。

「日本の個人が保有する金融資産は約1700兆円。それらが1%でも今より有利に、例えば2%のインフレ率+1%として年利3%程度の運用ができれば、国の税収約54兆円に匹敵する51兆円が個人金融資産に積まれる。その分が消費に流れ、再投資に流れれば大変な経済効果です。「貿易立国から金融立国へ」「貯蓄から投資へ」という社会変革の中で、日本FP協会の貢献範囲はますます広がっていくと考えています」

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、白根壽晴さんが語るリーダー論を紹介しています。
<http://adv.asahi.com>

朝日新聞 広告 検索



NPO法人 日本FP協会理事長

白根壽晴 さん

1954年東京都生まれ。早稲田大学法学部卒。住友電気工業を経て、83年税理士登録。93年第1回CFP®資格審査試験でCFP®資格を取得。97年エフピーインテリジェンス設立。同社を運営する傍ら、日本FP協会の行う金融経済教育などの活動に従事。2012年7月から現職。

白根壽晴さんのおすすめ本棚

『街道をゆく』全43巻 (朝日文庫) 司馬遼太郎・著
国内外の民族と文化の源流を探り、風土と人々の暮らしのかかわりを語る。白根さんのお気に入りには「本所深川散歩、神田界隈」と「南蛮のち(1-11)」

『最後の相場師(新装版)』 (角川文庫) 津本陽一・著
オイルショック後の低迷市況の中で大仕事に挑んだ、史上最大にして最後の相場師。実在の人物をモデルに、証券界を震撼させた株式投資の駆け引きを描く。

『人を動かす(新装版)』 (創元社) D・カーネギー・著 山口博・訳
人間関係の問題に焦点を当て、「相手の関心を見抜いて話術にする」「自分の誤りをただちに快く認める」など、解決策を指南。姉妹本は「道は開ける」。

『日本を創った12人』前・後編 (PHP新書) 堺屋太一・著
光武氏、源朝綱、織田信長、石田三成、徳川家康、大久保利通、浪沢栄一、マッカーサー、池田勇人など12人の人物考察を通して日本と日本人の独自性を探る。

『男が40代にやっておくべきこと』 (大和出版) 鈴木健二・著 <現在品切れ中>
悔いのない人生のために、40代にやっておかなくてはならないことは何か。仕事、地位、判断力、家庭、財産、教育、趣味・教養など様々な切り口から語り尽くす。

R 徹底した事実の収集を学んだ「街道をゆく」

ノンフィクションが好きで、小説は事実に基づいたものに手が伸びます。若い頃からファンなのは、司馬遼太郎さん。「燃えよ剣」をきっかけに諸作に親しみ、50歳を過ぎて「街道をゆく」シリーズを読み始めました。史料の掘り起こしや現

地取材に基づく深い洞察がすばらしく、浅い日先の情報で満足しがちな現代人に教訓を与えているように思います。私が携わるファイナンシャル・プランニングは、相談者の資産状況にまつわるあらゆる事実の収集が必要で、司馬さんの姿勢そのものに学びがあります。全43巻の中で今読むと面白いと思うのは、東京の文化エリアに注目した「本所深川散歩、神田界隈」です。「江戸・東京の土」に

は、おびただしい人間の汗や脂がしみこんでいる「明治の東京人は、日常語の整理やら秩序化ということにまで落語から多くを得ていた」など、司馬流の考察がささる一冊です。2020年五輪を控え、こうした本を通じて東京の文化史や開拓史を知ることが、将来に残すべき日本の首都の姿が見えてくる気がします。

「最後の相場師」は、1980年代に住友金属鉱山の株に投資して200億円の利益を得た是川銀蔵をモデルにした小説です。主人公は商人として成功し失敗を繰り返して、30代から投資理論を独学、80歳を過ぎて相場師として市場の話題をさらいました。彼が行ったのは、短期的な株価変動から利益を得ようとする投機ではなく、企業の成長を科学的に分析して資産を投じる投資であり、自分の能力を試したいという純粋な思いで勝負をした人だったことを、本書を読んで知りました。日本は今、NISAの活用など、国民の自助努力による財産形成が必須の時代になっています。その際に大事なことは、身の代り合った資産運用で、規模は違えど、「投資は科学であるべきだがリスクは不可避」という用川氏の投資哲学は、誰もが参考にできると思います。実は私は、是川氏が高額納税者寄付全国1位になってインタビューに答えたときの新聞記事を手帳に挟んで教訓に

ライフプランに照らして読む

日本FP協会は、個人のライフプランに応じた資金計画とアドバイスを行うFP(ファイナンシャル・プランナー)の活動を支援する。白根壽晴さんは、FPは天職と語り、読書においてもそれを実感する。「ライフプランに照らして何を学び取れるか考えながら読むのが楽しいんです。教訓を得た内容には赤線を引き、気に入った本は何度も読みます」

上司が饒別にくれた人間関係の指南書

私は以前、資本財のメーカーに勤めていました。しかし、職務が身近に感じられず、生活に密着した職業を選んで税理士の資格を取りました。退職する際に上司が饒別としてくれたのがD・カーネギーの「人を動かす」です。「道は開ける」です。当時の私は生意気だったので、「このままじゃ危ない」と上司は思ったのでしよう(笑)。本書には、「中身を精読し、役立つ箇所に赤線を引き、行動に移せ」とあり、実際にそうしてきました。人間関係に気をつけてくれた座り書きです。2冊の教訓は、Pとして相談者と2対2で話すときも、役に立っていると思います。

「男が40代にやっておくべきこと」は、元N日Kアナウンサーの鈴木健二氏の著書です。40代は、仕事、人間関係、健康など、あらゆる面で要の時期であること、著者の経験に基づきつつも、確かにその通りで、経済面から言えば、子育て、教育、住宅購入など、ライフイベントが重なり、晩婚化によってその傾向は強まっています。タイトルに「男」とありますが、近年は女性にも言えることだと思います。これからの日本は、財政難、社会保障費の圧縮、少子高齢化など、とにかく大変な状況の中を進んでいかなければなりません。個人が賢いライフプランやマネープランを立てることの重要性は層層増しています。35年前の日焼けした本書を読み返すたびに、FPという職業の意義を再確認しています。



三笠書房

知的生きかた文庫 14万部

元結不動密蔵院住職 名取芳彦

気にしない練習

不安・怒り・煩悩を放念、するヒント

「仏教は、いい人になれなんていつてません」

著者 名取芳彦

ISBN978-4-8379-8309-5 ●定価(本体590円+税)

5刷

賢く言い返す技術

片田珠美

攻撃的な人・迷惑な人・あの人に人になくなるコミュニケーション

著者 片田珠美

ISBN978-4-8379-2581-1 ●定価(本体1300円+税)

85万部突破!

パンが

あなたを殺す

みんな大好き! パン、パスタ、シリアル...の真実

著者 医学博士 デビッド・パールマター クリステン・ロバーク

著者 慶天堂大学大学院教授 白澤卓二

4週間で脳からリフレッシュする驚異のプログラム!

ISBN978-4-8379-5755-3 ●定価(本体1500円+税)

最新刊

頭は「本の読み方」で磨かれる

脳科学者流 完全読書ガイド

見えてくるものが変わる70冊

著者 茂木健一郎

ISBN978-4-8379-2583-4 ●定価(本体1300円+税)

頭のいい人は、何を、どう読んでいます?

- 「話のネタ」にしたい本を選べ
- 今の自分より「ワンランク上」と「ジャンル違い」を意識する
- 「積ん読」も、確実に脳の肥やしになる——その理由
- 今、読んでいる本が、「あなたはどのような人間か」を物語る
- 1日たった10ページ!「同時進行で、複数読む」